

東北大学関東良陵同窓会

平成二十年関東連合会総会のご案内

梅雨の候、会員の皆様には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東北大学良陵同窓会関東連合会総会は、これまで春季・秋季年二回の総会を開催して参りましたが、本年は都合により年一回だけの総会とすることが役員会で決定されました。

つきましては、下記の要領で平成二十年度東北大学良陵同窓会関東連合総会を開催したいと存じますので、なにとぞ万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

今回の総会では、特別講演を根本 宏先生（昭和四一年卒）にお願いして、「数奇な運命と音楽の神秘」と題した講演をしていただくことにしております。根本 宏先生は、長年本会の常任幹事として本会発展に寄与頂いている方ですが、先生はさきの第二次大戦の東京空襲で負傷。その後孤児となり、幾多の苦難の道乗り越えて東北大学医学部を卒業され、医師として地域医療に大きな貢献を果たされる一方、音楽をこよなく愛し多くの有名な演奏家との交流もあります。先生のこれまでの生き様のご講演は、必ずや皆様に勇気を与えてくれるものと存じております。

今回は総会が一回だけです。奥様はじめご家族の皆様お誘いいただき、是非、ご出席賜りたく心からお待ち申し上げます。

東北大学良陵同窓会関東連合会

会長

高橋 俊雄

記

一、期日 平成二十年九月二十日（土）

二、場所 市ヶ谷私学会館アルカディア四階

千代田区九段北四・二・二五

交通・地下鉄有楽町線。新宿線。

南北線。市ヶ谷駅下車、各徒歩二

（電話03・3261・9921）

三、受付開始 午後四時より

四、総会 午後四時三十開会

一、開会の辞

一、経過報告

一、その他

一、閉会の辞

五、特別講演 演題『数奇な運命と音楽の神秘』

講師 根本 宏先生（昭和四一卒）

五、懇親会 午後六時頃より開会

アフターデイナークンサート・出演バンド

240ヴァイブレーション（後述）

「クラシックから演歌まで」

七、会費 会員 八〇〇〇円

ご家族 五〇〇〇円（一人）

八、出席申込み 今回、総会は九月となりますので、

本総会懇親会費は後日、徴収させていただきます。

したがって今回は、

振替用紙に本総会の出欠をご記入

の上、年会費三〇〇〇円のみを、

お支払ください。

平成20年度総会特別講演要旨

数奇な運命と

音楽の神秘

根本 宏

(昭和四一卒)

自分の半生を振り返ってみると、何と数奇な運命であったのかと改めて感じます。

私は孤児でした。殆ど天涯孤独の身でしたし、しかも第二次大戦の東京大空襲で、B29爆撃機の焼夷弾を受けて右大腿骨頸部に損傷を受けました。その孤児が、本学の医学部にどうして入学できたのか、大変に興味を持ったノンフィクション女流作家の石村博子さんが、私をモデルにした



写真(上) 特別講演
講師 根本宏先生

「生きる力抱きしめて」という題名の本を毎日新聞社から上梓しました。

そこには、私の歩んだ苦難の幼少時代、幼い頃両親を失うことは、孤独や、経済的困窮、愛情の欠如等言い知れない寂しさと苦しさを味わったことが書かれています。

同時に親戚や、孤児院等を遍歴した人生模様が克明に記されており、それでも私は医師であった父のように医学の道に志して、幾多の困難を乗り越えて、都立小石川高校を卒業して、東北大学医学部に入学いたしました。本学では、医学部の寮「昭和舎」に入りました。

大学に入るまでには、さまざまなアルバイトをして、その合間に受験勉強を猛烈にするというような状態でしたが、この苦しい時に出会ったのが、クラシック音楽でした。

受験書をどこでも手放さず、時間と暇がありさえすれば、勉強をしました。労働と激しい勉強で、若い頃でしたが、身体も頭も非常に疲労しました。

ところが、勉強を一休みして、大好きなクラシック音楽、たとえばバッハや、モーツァルト、ベートーベンなどの世界に入って行きますと、次第に頭の疲れが取れて、不思議なことに脳の働きが活発になっていく経験を何回

となくしました。そして再び難解な書物に向かい、前よりも理解が深まり、正確な判断が出来るようになったのでした。

私は音楽の持つ不思議な力について考えましたが、その結果、音楽が人間の右脳の働きを活発にさせて、左脳の疲れをも癒すと考えました。

私はクラシック音楽の神秘に助けられて、半生を過ごして参りました。今回の講演では、私が体験した数奇な運命と音楽の神秘についてお話したいと思います。

略歴 根本 宏先生

学歴

都立小石川高等学校卒業
東北大学医学部・大学院卒業
第一外科(消化器)、同学教
室入局 学位を取得

職歴

文教教官、聖隷病院(浜松)
医療法人財団・織本病
院(消化器外科)勤務

昭和五二根本外科医院開設 練馬区医師会

(理事・各委員・東京都社
保・国保審査委員歴任)

現在、練馬福祉園、老健施設などの顧問医他

その他の職歴

厚生省大臣官房統計調査部
(人口動態)
NK漢方薬研究所

平成十九年度良陵同窓会

関東連合会秋季総会

新潟・長岡市で開催

関東良陵会秋季大会は、平成十九年十月二十七日(土)午後五時から、新潟県長岡市ホテルニューオータニにおいて開催された。

出席者は十五名(うち新潟支部会員十一名)であった。

午後五時、三間孝雄先生の司会で丸岡 稔新潟支部長の開会の辞、挨拶の後、二名の新潟支部物故会員(木村元、植木信夫、千葉芳生、先生)に対する黙祷を捧げ、高橋会長挨拶、新田幹事長の経過報告があった。

ひき続いて、河合継之助記念館館長、稲川明雄先生の「河合継之助の政治姿勢―改革に見る濟世思想―」特別講演が行われた。

河合継之助は、幕末の長岡藩に彗星の如くあらわれ改革を断行し、北越戊辰戦争において悲運の最期を遂げた人である。

彼のとつた政治姿勢は、その後の長岡の歴史、日本の歴史に影響を与えたと言われている。

改革は、金儲けが大切である、人間愛を大切に、公明正大、信賞必罰、文武奨励、産業振興である。

継之助は、陽明学を学び、濟世思想を基点に改革を断行した人物である。これまで、長岡には、河合継之助、山本五十六、田中角栄など日本を動か

した人物を輩出している。

特別講演終了後、記念撮影を行い、午後六時三十分から

「ボーカルアンサンブルGEN」

有志の美しい歌声で楽しく会を盛り上げていただき、永井一成先生の乾杯の音頭の後、懇親会に移った。

お互いに楽しく懇談しながら親しい交流を深めながら、午後八時、新潟副支部長、鈴木莊司先生の閉会の辞で閉会した。(文責 高橋俊雄)

東京医師アカデミーの開講

新しい専門医臨床研修制度「東京医師アカデミー」が、本年四月一日開講した。本制度は都立病院七二〇〇床のスケールメリットを活用した、卒業二年の初期研修を修了した医師を対象とした三〜六年間の全国初の組織的な専門臨床研修制度(シニアレジデント制度)である。本年は、東大、京大など全国五十一の大学から応募があり、百二名を採用した。(平均倍率一・八倍)東北大学出身者は三名合格(駒込病院、広尾病院、神経病院)した。本制度は学会専門医の取得を到達目標とし、臨床教育方法をこれまでの日本の教育法(徒弟制度方式)から各項目ごとに詳細な到達目標(SBOs)を設定した欧米型専門医養成法に転換し、三ヶ月ごとの自己評価、指導医の評価、レジデントによる指導医の評価を行う。そのために今回東京都は、レジデント並びに指導医に大幅な処遇改善を行った。また、指導責者に対し

てはレジデント専門の秘書を配置した。養成制度として注目されている。本制度は、石原知事肝入りの東京都の重点施策の一つであり、また新しい

東京医師アカデミー運営委員長

高橋俊雄

アフターディナー・コンサート♪

ユニークで楽しいバンドの登場!楽団名もユニーク!

240ヴァイオリオン(バンド名です)

ヴァイオリン・ピアノ・ギターの三重奏です!

今回出演のバンド「240ヴァイオリオン」は、ヴァイオリン栗田文子さん・ピアノ菅野千春さん・ギターTATSU (タツ)さんの三名で編成されています。

バンドの名称は、ヴァイオリンが4本のストリングス、ピアノは230本のピアノ線、ギターは6本のストリングス。これを合計すると240本になります。

その振動が聴衆の心を振動させるということに由来します。楽しい音楽の数々は気楽に楽しめます。

ご期待ください♪

今回の演奏のテーマは、題して

クラシックから演歌まで



写真左からギターTATSU
ヴァイオリン栗田文子
ピアノ菅野千春の皆さん

演奏曲目メニュー

メヌエット(モーツァルト)

愛の挨拶(エルガー)

タイスの瞑想曲(タイス)

テネシーワルツ

オーバーザレインボウ

オールオブミー

君といつまでも

北の宿から

北酒場 その他

若手会開催される

本年の若手会は、平成二十年三月八日(土)、例年の如く飯田橋「北海道」で開催された。

出席者は、二十五名と例年より若干少なかったが、安い会費で飲み放題、食べ放題で各人の近況報告、自己PRなど話が弾み大いに盛り上がった。

本年は、この会の発起人である押田茂實日本大学教授が定年退職されるので、感謝の花束贈呈が行われた。

若手会の名称について、本年度で押田会長が退任されることや最近この会には若手だけでなく自称若手という、実際は年配者も出席するので、別の名称として、「若手を考える会」、「若手を育てる会」などの名称も提案されたが、この会はあくまでも良陵同窓会関東連合会の一分科会であるので、関東良陵会と競合することは避けて、この件に

ついては保留となった。

(文責 高橋俊雄)

黒木登志夫先生

東京に戻る

黒木登志夫先生(昭三五卒)東京大学名誉教授は、七年間の岐阜大学学長を終えて、本年四月東京に戻られた。

岐阜大学学長時代には名学長として、多くの大学改革を行い、大学ランキング2008のベストテン学長に選ばれた。現在、日本学術振興会・学術システム研究センター、岐阜県研究開発財団理事長。

2008年版関東良陵同窓会会員名簿の発行

二〇〇八年一月、本会の名簿を発行しました。退会を希望する方、住所不明の方などを除き一五二八名の方を掲載しました。

自宅住所の登録の無い方(おそらく掲載を希望されない方)は、勤務地または職名、勤務地郵便番号、勤務地住所、電話を出来るだけ記載しました。また、索引を設けましたのでご利用下さい。経費削減のため名簿編集作業は、会長高橋自身が行った手作り名簿です。で、不備な点があるかと思われるものが、何卒ご容赦下さい。

*逝去会員 (敬称略)

広田 信敏	昭和二四卒	眼
松本 健二	同 二五卒	放射
阿部 政次	同 二三卒	抗内
内藤 成雄	同 二三卒	内3
大山 涉	同 二八卒	外1
川合 宏明	同 五八卒	抗放射
村上 穆	同 三〇卒	外2
瀬戸 泰士	同 二八卒	外1

右記の先生方が平成二〇年一月から六月までの間に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

女医部会開催のお知らせ

平成二十年関東良陵同窓会女医部会は、平成二十年七月二十六日(土)、午後五時から例年のようにFM Jet Stream 十一階で開催されます。ご参加をお待ちします。会費五千元。

講演「尿もれ」鈴木尚子(昭六一)東京都老人医療センター
〒一〇二、八〇八〇 千代田区
麹町一、七FMセンター
電話03(3221)0192

会費納入のお願い
今年度会費二千元を同封の振替用紙にてご納入ください。

事務局移転のお知らせ
関東同窓会事務局は左記の場所に移転しました。

東北大学良陵同窓会
関東連合会東京支部
〒247-0072
神奈川県鎌倉市岡本
二、二、一、七〇四

TEL & FAX
〇四六七(四五)〇二八七



写真右 意気上がる若手会の気鋭の皆さんが勢揃い